

TAIJI THREE PROJECT

名古屋港水族館のシャチ捕獲にNOと言おう
私たちの新しいアイデアを応援してください

シャチは、家族の絆がとても強い動物です。
4年前、人間の勝手な欲望により引き裂かれたシャチの家族を
名古屋港水族館で再会させてみませんか？
そのとき、どんな素晴らしいドラマが生まれるでしょう。
そして、再び自由の海へ...

「太地3」プロジェクト スタート！

1997年2月、和歌山県太地町の畠尻湾にシャチの家族10頭が
追い込まれました。
この内の5頭は水族館に買い取られ、ほかの5頭は解放されました。
そして、捕獲からたったの4カ月で2頭が相次いで亡くなりました。
しかし、3頭はまだ生きています！
4年間離ればなれで暮らしていた3頭を名古屋港水族館へと運び、
再会させるという感動的な瞬間を、みんなの声で実現させませんか？
そしてリハビリをほどこし、再び自由の海へと返すのです！
リリース後には、解放された5頭の家族と合流するかもしれません。
そんな壮大かつ新しい試み...それが「太地3」プロジェクトです！

CATCH or REREACE ?

名古屋港水族館を考えるなかまたち

〒464-0075 名古屋市千種区内山1-5-19

電話：052-745-1001

E-mail：orcinus@mac.com

<< 名古屋港水族館の苦しい現状 >>

オープンまで残り1カ月なのに 目玉のシャチがいまだに入手できないのはなぜ？

今、世界ではイルカ・クジラ類の飼育撤退とシャチ解放に向けた大きな変化が起こっています。その中で新たなシャチ飼育に名乗りをあげているのは、世界で唯一、名古屋港水族館だけです。

時代に逆行するシャチ飼育計画は、世界に恥ずべきものなのです！

こうしている間にも名古屋港水族館の シャチ捕獲活動は進められています！

先日の報道や話合いにより、名古屋港水族館がロシア海域でのシャチ捕獲活動を行っていた事実が明らかになりました。気象条件により今年度の捕獲活動は困難になってきましたが、来春には再開される可能性が残されています。

捕獲作業の継続は、新たなシャチの家族が離ればなれになるばかりでなく、多くのシャチが負傷したり命をおとす危険性があり、即刻止めさせなければなりません。世界中から非難の声も殺到しています。

さらに、今回のロシアでのシャチ捕獲については、マフィアなどとの関係も強く疑われています。

野生のシャチはメスで80歳、オスで50歳まで生きることが可能です。

シャチは、その一生を家族と共に過ごします。

しかし家族と引き離され、狭いコンクリートタンクに閉じ込められた

水族館のシャチはあまりにも短命です。

「新たな犠牲はもうありません！」